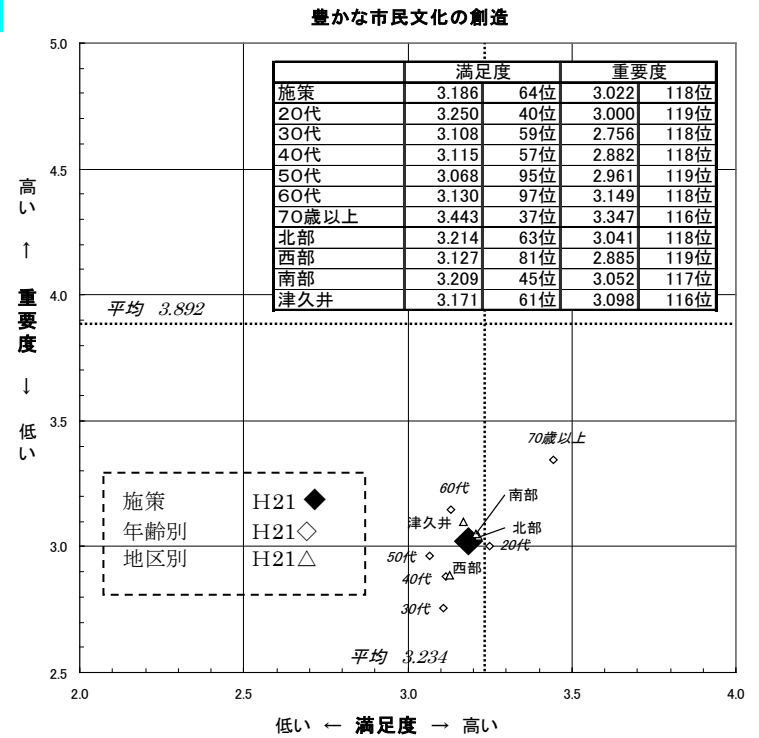




### 5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.186で全119施策の中で64番目。
- 重要度は3.022で118番目である。
- 改善要望度は-0.581で118番目である。



### 6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 2 (1)	4 (2) 1	市民文化祭の参加者は、前回より大幅に増えたものの目標の2500人には及ばなかった。実施主体である実行委員会は、独自で協賛金を集めるなど自主運営化を進めているが、構成する文化団体の高齢化は否めない状況にある。今後は、種目・構成団体を増やすなどの対策が必要である。
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	(4) 2 1	/	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 (2) 1	前回調査では、満足度(3.206)、重要度(3.223)であり満足度は平均を上回ったものの重要度はかなり下回る結果だったが、今回の調査では満足度(3.186)、重要度(3.122)とも平均値を下回った。都市化が進む中、文化・芸術の果たす役割は今後も高まると考えており、平成19年度に実施した「文化芸術等に関する調査」等に基づいて、現在改定作業を進めている「さがみはら文化振興プラン」の中で施策を見直していきたい。
合計		6		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	ここ数年、指標に基づく事業成果は向上してきていたが、今回は前回より落ち込む事業が多かった。市民全体の文化芸術に対する意識啓発とともに、事業成果の再向上に努める必要がある。
解決策	文化・芸術については行政施策のみで振興するのではなく、市民や企業等とともに取り組みことが効果的と考える。現在改定作業を進めている「さがみはら文化振興プラン」の中で、こうした考え方を盛り込むなどして、今後の文化・芸術振興に取り組んでいく。

### 8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向